



# 卓球大会3年ぶり開催

## 個人戦で実施

笹賀公民館は1月29日、同館多目的ホールで第38回卓球大会を親睦ラージボール卓球大会として開催し、選手と運営役員30人程が参加した。従来は、町内公民館対抗による団体戦を行っていたが、体



育委員会は新型コロナウイルス感染症予防対策を考慮し、内容を個人戦に変更して3年ぶりに開催した。

### 出場選手



地区の卓球クラブで活動している選手や町会の公民館で練習している人、昔からの卓球好きやラージボール初心者

### 試合結果

を4人に分け、混成リーグ戦、及び決勝トーナメント方式で行った。町内公民館対抗を開催した頃の200人近い参加者数に比べると寂しさは感じるが、試合が進むにつれて久しぶりの行事でもあり、会場は盛り上がりを見せていた。

笹賀の世帯数・人口
世帯数 4,659世帯
人口 10,695人
男 5,390人
女 5,305人
(令和5.3.1現在)



### 参加者の声

ラージボール卓球は、ボールの直径が44mmで硬式より4mm大きく、ネットが2cm高く、ラリーが続きやすいというところなどから、生涯スポーツの分類に入っているが、試合に

等様々なレベルの選手が参加した。試合展開は、各予選リーグの結果、4リーグとも、奇しくも1位は男子、2位は女子が入り、1位2位による決勝トーナメントと3位4位勝トーナメントに進んだ。決勝は村上勇選手(今)と、大川勝彦選手(空港東)が熱戦を展開し村上選手が優勝した。3位決定戦は、小澤美保選手(神戸)と赤羽淳子選手(上二子)の女子同士の対戦になり小澤選手が入賞した。

今	12月の初めにお札づくり。1月下旬か2月初旬の土曜日に中学生のみで実施。今年度の参加人数は11人。
巾下	三九郎の翌日にお札づくり。2月第1週の土日に小学生と年長さんを含めて実施。今年度の参加人数は3人。
下小俣	2月4日に小学4~6年生で、歌は感染症予防で自粛し実施。今年度の参加人数は20人。
神戸新田	参加者は小学5年生~中学2年生の男子のみ。ここ数年は、役員でしめ縄とお供えを実施。
神戸	1月14日に新年会と合わせて実施。小学5、6年生が15~20人参加。
中二子	1月下旬か2月初旬の土日に、小学4年生~中学2年生でお供えのみ実施。
下二子	三九郎でのお札づくりは中止。1月14日に小学4~6年生25~30人を対象に町会の歴史・伝承の学習会を実施。



「行事の開催が制約を受け、中、情勢を判断しながら交流経験を積んでいくことが重要」と述べていた。

なると卓球競技の経験者が上位に進出している。惜しくも4位になった赤羽選手は「大会が開かれたことが嬉しい。公民館対抗ができるようになる時を楽しみにしている」と話した。山田賢司公民館長は

「道祖神」地区の辻などに置かれている石碑。1月の末から2月にかけて、笹賀地区では「道祖神まつり」が行われています。地区へのアンケートを行った結果、表のようになりました。道祖神について調べてみると奥が深いのです。今回は紙面の都合によりアンケート結果のみとさせていただきます。色々調べて追加記事を書きたいと思いま



連載 編集委員の自由研究

**往来インタビュー**  
菅野小学校教頭  
中林文広さん

前任はどちらですか？学校ごと児童の感じは違うものでしょうか？

鎌田小学校にいました。鎌田小学校の子どもたちは、都会的な感じが多かったですね。菅野小学校は、みんな素直で素朴です。新しくきた先生を大切にしてくれ、話を聞いてほしいと、寄ってくる子どもが多いと感じます。



菅野小学校教頭  
中林文広さん

地域との関わりはどうですか？

コミュニティスクールが年3回ほどそれぞれのクラスで行われています。太鼓、松本一本ネギ、おはなしすがの等、地域のみなさんが児童と関わり育て支えてくれているのを感じます。コロナ禍で難しい面もあるのが残念です。来年度はいろいろ考えながら地域

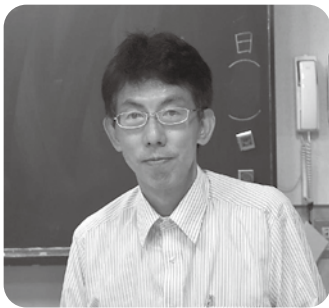
**往来インタビュー**  
二子小学校教頭  
下平良洋さん

のみなさんとの交流を、もう一歩踏み込んで行けたら良いなあと思います。

着任した下平良洋教頭先生に学校の様子を伺いました。

令和4年度の二子小学校は1・2・3年生が1学級、4・5・6年生が2学級で、全校児童数が226人と減少の方向にあります。規定の児童数に達しなければ教員数の確保が難しくなる心配が発生することです。

そんな中、充実した学校生活を目指して二子小学校の地域交流「二子の子応援団」が



二子小学校教頭  
下平良洋さん

あります。会議では、コロナ禍の行動・対応として、こんな時だからこそ更に活性化を目指しています。学校にいて

地域と関わると地域の良さを知る機会になり、子どもたちも地域を調べ、地域を知る学習をすることで地域への愛着が育ちます。

また、以前からICT(情報通信技術)に関心があり、学級閉鎖時のオンライン活用やひとり1台端末の促進、タブレット利用のプログラミングによる成功体験を味わう機会が大切と話しました。

**菅野小・中学校  
吹奏楽近況報告**

菅野中学校吹奏楽部は10月1日福井市で開かれた「第65回中部日本吹奏楽コンクール」中学校大編成の部に県代表として出場し銅賞を受賞しました。

菅野小学校ブラスバンド部は10月16日長野市ビッグハットで行われた「第26回東海小学校バンドフェスティバル」で金賞を受賞し、2月18日に行われた「全国小学校管楽器合奏フェスティバル東日本大会」に長野県代表校として出場しました。

顧問の北澤沙弥香先生は出発前に「令和4年度最後の



菅野小学校ブラスバンド部



菅野中学校吹奏楽部

大会です。心をひとつにみんなで楽しく演奏したいです」と話しました。みんな6年生との最後の演奏を楽しんだそうです。

**さんぽみち**

▼地区の人権啓発推進協議会の視察研修に同行し、上田市にある戦没画学生慰霊美術館「無言館」に行った。ここには美大など美術学校の学生や、独学で美術を学んでいた画家の卵たちの絵が展示されている。みんな戦争に駆り出され、命を落としていった若者たちである ▼各種の賞を受賞している人が多く、普通の美術館として見ても高レベルの作品が多い。時代が違うから、と言う見方はある種の偏見だろうか、今の人たちはこれらの絵の気迫を表現できないだろう ▼「国を守るのは男子の本懐」と出征したが、前日に妹にだけ「行きたくない、絵を描きたい」と打ち明けた人がいた。みんな思いは変わらないと思う ▼昨今の国際情勢において、我が国はどうあるべきか。戦争は人権も無視される愚かな行為であり大反対である。しかし、国(家族)を守るということも大切である。これはいくら議論しても答えが簡単に出るものではない。だが、これらの人たちがいて我々の現在がある、ということをお忘れはならないと思う。